



私のいちおし本 「青のナースシューズ」

藤岡 陽子 著



選者：銀河アリーナ図書室 上野 千鶴

主人公岡崎成道は、働き詰め之母に代わって、車椅子の弟の面倒を見ているヤングケアラーです。亡き父と同じ道を志す成道は、看護大学に進学し、40人のクラスに男子は5人という厳しい環境で必死に頑張ります。しかし看護業界は女性中心で「男は向いていない」などの偏見や壁にぶつかってしまいます。それでも彼は誠実な姿勢で患者と向き合い続け、厳しい実習を乗り越えて、次第に患者や指導者に認められていきます。

患者の死や障害といった辛い現実にも直面しながらも、自分なりの看護師像を見つけ、看護師としての一步を踏み出す医療青春物語です。

逆境に負けない若者の姿に勇気をもらえる作品です。ぜひ読んでみてください。

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

【一般】

朝日のあたる病院

本城 雅人 著

大学病院の旧館を「朝日のあたる病院」と呼ぶ小児外科教授・外木場は、毒舌と完璧主義で知られる現場主義者。厳しさの裏にあるのは、幼い命を救うための徹底した準備と祈りのような執念だ。専攻医の栗山、清田、大町は、彼の指導に翻弄されながらも、医師としての覚悟と責任を学んでいく。

「朝日は、子供の未来を照らす」—小児医療の厳しさと希望を描く感動の医療長編。



【文化センター図書室】

【一般】

いつもの場所に今もあなたがいるようで

大森 あきこ 著

病気で逝った弟を気丈に見送る小1のお兄ちゃん、バスケットコーチだったお父さんの亡骸とみんなで最後のハイタッチ、冷たくなった幼子に「触らないで」と懇願した若い母親…。納棺師が綴る、忘れられない家族の物語。



【児童】

きゅうしょくのじかん

加藤 休ミ 作 絵

小学校の給食ってどんなんだろう？今日の献立は何か？食べ物描写に定評のあるクレヨン画家、加藤休ミが実際の小学校を取材して人気メニューをつぶさに描く。配膳や片付けの流れも楽しく学べ、子どもたちの小学校へ入学する楽しみをワクワクさせてくれる。就学前の子ども、現役の小中学生から給食に懐かしさを覚える大人まで幅広く楽しめる絵本。



【児童】

14歳、字を書けない私が「書く」喜びを手にするまで

朝野 幸一 著

手書きで、字が、書けない。暗闇の中にいた私の転機は、小学5年生の時に訪れた…。書き障害の当事者が、学校で受けた「合理的配慮」の経験を主軸に綴る、魂の救済の告白。NHK障害福祉賞体験作文への応募作を基に加筆修正。



その他の新刊

【一般】棺桶まで歩こう

萬田 緑平 著

すべてが円くなるように

原田 マハ 著

【児童】ハチは救急車ねこ

ながわちひろ 作 絵

おべんとうわすれてるよ

東川 りえさく

その他の新刊

【一般】悪いことばの力

和泉 悠 著

青天

若林 正恭 著

【児童】万丸食堂、奇跡のソフトクリーム

山本 悦子 著

あのそらをきみにあげたい

かとうようこ 作 / たなか 鮎子 絵